

●防護カバーをはずさないように

なぜ？

防護カバーがないと、危険な物(ベルト、刃等)がむき出しになったり、飛散した石等でケガをすることがあります。必ず防護カバーを取り付けて作業しましょう。

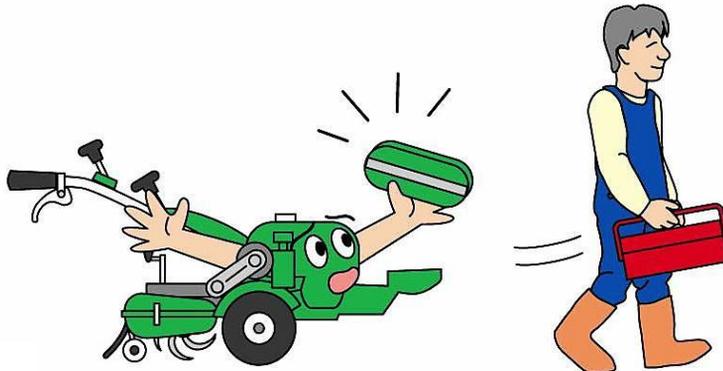
ヒヤリ、事故

1. 畦畔草刈中、刈刃が割れて飛び散り、足にぶつかった。防護カバーを取外していた。刈刃の損傷が無いか点検するようになった。
2. 草刈作業中、刃に空き缶があたり足にぶつかった。
3. 点検後、ファンのカバーをはずしたままにしていたが、モーターのプーリーへ手を近づけたところ、プーリーの押しボルトに指をたたかれた。

そこで…

対策ポイント

1. 点検、整備をした後は、必ず防護カバーを取り付けます。
2. 防護カバーを必ず取り付けて作業します。



点検整備ではずした防護カバーは必ず取り付けましょう

さらに！

追加のヒント

1. 防護カバーが破損した場合には、必ず修理します。
2. 防護カバーを外したらエンジンが自動的に止まる機械や、防護カバーを取り付けないとエンジンが始動しない機械の開発も必要です。